

(別記第14号様式-1)

貯水槽清掃作業計画書

平成 年 月 日

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇 印

建築物の名称		所在場所		
		受水槽	高架水槽	副受水槽
貯水層構造	容量 (m ³)			
	材 質			
	塗装の種類			
	設置場所			
	設置方法 (地下式等)			

1 受水槽
上記建築物の 2 高架水槽 について、次のとおり清掃を実施する。
3 副受水槽

作業実施年月日・時刻	平成 年 月 日 時 分 から 時 分 まで
断水時間	時 分 から 時 分 まで
採水場所	1 給水栓末端 2 その他 ()
作業班の編成	
作業監督者氏名	
使用機材及び機器等	(名称を記載すること。)
作業手順及び作業工程	別記第14号様式-2のとおり
作業結果	後日貯水槽清掃作業報告書を提出する。

<作業手順>

現場に集合 (時 分)

↓

契約条項の確認

↓

作業チームの確認

↓

作業機材・機器の確認

↓

掃除場所の確認

↓

給水設備等の運転状況確認 (故障及び異常状態等を含む。)

↓

貯水槽周辺の清掃

↓

使用機材・機器の消毒

↓

有効塩素50~100PPMの濃度の次亜塩素酸ソーダ溶液を使用

手足・長ぐつ等の消毒

↓

作業衣の着替 (消毒済のものを使用)

↓

安全処置の確認 (安全帽・長ぐつ・火気・電気・換気・工具・機器・油類・仮設物等)

↓

作業開始

↓

作業終了

↓

給水開始

↓

遊離残留塩素等簡易な水質検査 (槽内及び給水栓末端において)

↓

現場周辺の整理・整頓

↓

作業完了 (立会人により作業完了の確認を受ける。)

↓

作業報告書提出 (水質検査結果が判明した後)

<作業工程>

- 1 槽周辺の清掃
- 2 槽上部の清掃
- 3 水道引込管、揚水管、吸込管及び排水管の弁を必要に応じ開閉する。
- 4 揚水ポンプ等で槽内の水を排水する。
(ドレン弁がある場合は、これを用いる。)
- 5 槽内をブラシ、タワシ等で掃除する。同時に接続管、弁、機器類も入念に掃除する。
- 6 槽内の水分等をウエス等できれいに拭き取る。
- 7 修理箇所の有無の点検(修理が必要な場合は、修理する。)
- 8 消毒は、次亜塩素酸ナトリウム(50~100ppm)を噴霧し、30分以上放置して消毒し、洗淨水を用いて洗淨する。(2回以上実施する。)
- 9 槽の清掃の実施の際、開閉した弁を元に戻す。(給水開始)
- 10 遊離残留塩素等の簡易な水質検査を行う。

備足>

- 1 受水槽及び高置水槽の掃除を行う場合は、原則として同日に実施し、順序は受水槽の掃除を行い、次いで高置水槽の掃除を行う。
- 2 塗装を行う場合には、槽内掃除後に行い、その後消毒を行う。

